

第 12 回知識構造化シンポジウム

「知識の再利用性を高める SSM 実践各社の様々な工夫」

集合+ライブ配信
同時開催!

2020

9/18(金)

13:30-17:00

会 場：日科技連・東高円寺ビル（東京都杉並区）

参加費：4,500 円（税抜き、会員・一般とも）（集合、ライブ配信とも）

◆特典つき！詳細は裏面に◆

主 催：一般財団法人日本科学技術連盟

不具合情報・技術情報から知識を一般化・体系化し、再発防止・未然防止に有効活用する SSM による構造化知識マネジメントは、多くの業種・企業で取り組まれています。導入企業では、製品、システムの設計、試験など様々な業務に SSM 知識を活用し、デザインレビューの改善や FMEA、チェックリストなどの手法の強化を図り、業務品質を向上させています。また SSM の取組みを通じて、熟練者が保有する技術知識の伝承を進め、不具合報告書の書き方を改善するなど、質の良い知識が社内に浸透する工夫を進めています。

今回のシンポジウムは、SSM を実践している 2 社の取組みをご紹介します。また特別企画として海外トピックを取り上げ、韓国における未然防止活動をご紹介します。当日はライブ配信も行います。ぜひご参加ください！

※本シンポジウムは実践に重点をおいた内容となっています。下記の書籍を事前にお読みいただくと、一層効果的です。

『SSMによる構造化知識マネジメントー設計開発における不具合防止に役立つ知識の構築と活用ー』(田村泰彦 著 日科技連出版社)

『JSQC 選書 第 4 巻 『トラブル未然防止のための知識の構造化ーSSMによる設計・計画の質を高める知識マネジメントー』

(田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会)

※ライブ配信とは、ご参加いただく方の PC、もしくはタブレット、スマートフォン等で、シンポジウムの様子を映像で視聴しながら参加していただく形式です。総合討論での質問方法、ライブ配信プラットフォーム、PC 等の推奨環境など、詳細は、web サイトをご確認ください。

プログラム

時 間	内容／講演者（敬称略）
13:30-13:40	オリエンテーション
13:40-15:05	事例講演 1： 「SSM を活用したエンジンの設計不適合未然防止」 山本 昇平（三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株) 品質保証部 エンジン保証課 エンジン保証チーム） 事例講演 2： 「SSMによる設計知識データベース活用の全社展開」 古谷 元洋（アズビル(株) パルブ商品開発部 4 グループ グループマネージャ）
15:05-15:40	招待講演：「韓国企業における FMEA と SSM を活用した未然防止活動」 Jeong Kyung Hun (GDnP Solution Co., Ltd. CEO)
15:40-16:10	特別解説：「構造化知識マネジメント導入の進め方と最新動向」 長谷川 充（(株)構造化知識研究所 シニアコンサルタント）
16:10-16:50	総合討論：全講演者 コーディネータ：田村 泰彦（(株)構造化知識研究所 代表取締役）
16:50-17:00	まとめ

※プログラムは予定です。時間・講演内容・タイトルなど予告無く変更される場合がありますので予めご了承ください。

お問合せ先

一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営推進センター 品質経営グループ SSM 担当

TEL：03-5378-1213 E-mail：tqmsemi@juse.or.jp

お申込みは裏面をご利用頂くか、日科技連ホームページ URL：http://www.juse.or.jp/ をご確認ください。

概要 (講演者敬称略)

事例講演 1 「SSM を活用したエンジンの設計不適合未然防止」

山本 昇平 (三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株) 品質保証部 エンジン保証課 エンジン保証チーム)

弊社エンジン技術部、開発室および品質保証部では、従来より、再発防止・未然防止の仕組みとして、戦訓(過去トラ)データベースの参照やDR等を用いてきた。しかし、戦訓DBは検索性が十分ではなく、設計変更時やDR時に適切な戦訓を参照できる状態ではなかった。そこで、技術部、開発室および品質保証部が連携して、既存戦訓をSSMにより構造化、一般化した知識ベースに置き換え、知識の質や検索性を高めるとともに、知識の活用方法を整備し、設計不適合の再発防止・未然防止の強化を図っている。本講演では、このような知識づくりや知識活用の工夫を紹介する。

事例講演 2 「SSM による設計知識データベース活用の全社展開」

古谷 元洋 (アズビル(株) パルブ商品開発部 4グループ グループマネージャ)

弊社では、計測と制御の技術のもと、建物、工場の生産ライン、プラントなどの市場向けの様々な技術開発、製品開発を複数の開発部門で進めている。それぞれの開発部門での経験を設計知識にまとめ、全社での共有化により設計品質を向上させることで、トラブルの未然防止を図るとともに、設計の手戻りをなくし、業務の効率化を目指す活動を推進してきた。本講演では設計知識の全社共有化を進める上での課題やその解決方法などに関する具体的な活動を紹介する。

招待講演 「韓国企業における FMEA と SSM を活用した未然防止活動」

Jeong Kyung Hun (GDnP Solution Co., Ltd. CEO)

設計開発におけるトラブル未然防止のためのツールとして、韓国企業でもFMEAが活用されている。特に自動車業界を中心に、昨年発行されたAIAG & VDA FMEAハンドブックをもとにFMEAを行う動きが見られる。FMEA実施にあたって、過去トラブル情報は貴重な情報であるため、各企業で様々なデータベースが構築されているが、有効に活用されているとは言えない。そのため、既存情報を知識化して実務で効果的に活用する手段としてSSMを導入する企業も増えている。本講演では自動車、自動車部品、家電製品のメーカー3社の例を取り上げ、FMEAとSSMの取組みを紹介する。

特別解説 「構造化知識マネジメント導入の進め方と最新動向」

長谷川 充 (株)構造化知識研究所 シニアコンサルタント)

総合討論 (全講演者)

コーディネータ: 田村 泰彦 (株)構造化知識研究所 代表取締役)

◆参加者特典のご案内◆

本シンポジウムの参加者特典として、日科技連主催「設計開発における不具合未然防止のための知識活用セミナー」(参加費: 一般 67,000 円、会員 60,000 円 (税抜き)) の参加費割引 [一般・会員とも 4,500 円 (税抜き) / 1 名の割引] を実施します! (※2020 年度第 2 回、2021 年度第 1 回コースが対象となります。) 本特典は 3 名様 (シンポジウム参加者ご本人+2 名) までご利用可能です。上記セミナーに参加される場合、本シンポジウムの参加費分が割引される大変お得な特典です。ぜひご利用ください! なお、本特典をご利用になる際には、上記セミナーお申込み時に、本シンポジウム当日に配付する専用申込書が必要となります。

◆お申込み先: セミナー受付グループ (FAX: 03-3344-3022 / regist@juse.or.jp / TEL: 03-5990-5849)

※No 欄は記入しないでください **第 12 回知識構造化シンポジウム参加申込書** 2020 年 月 日

No	ふりがな 参加者名	所属事業所・部課・役職名	所在地	電話/E-mail	参加形式 ※いずれかを○で 囲ってください
		〒		TEL: E-mail :	集合 ライブ配信
		〒		TEL: E-mail :	集合 ライブ配信
		〒		TEL: E-mail :	集合 ライブ配信

●連絡担当者様 (お申込み受付後「開催ご通知」をお送りする方)

会社名		事業所名		電話	
部課/ 役職名		ふりがな 担当者名		FAX	
所在地	(〒 -)	E-mail			
参加費	4,500 円(税抜き) × 名 =		円		

※ご記入いただいた企業・組織及び個人情報、参加申込み受付処理ならびに日科技連からのセミナー情報ご送付のために使用いたします。また、当該個人情報が必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、第三者に提供することはありません。なお、お申込みいただいた方には当連盟のセミナー・研究会・講演会等をご案内する場合がございます。また、その際、宛名データを外部に委託する場合がありますのであらかじめご了承ください。ただし、ご要請があればご案内を速やかに中止いたします。
※事前のキャンセル連絡がなく欠席された場合は、資料のご送付と引き替えに参加費を全額頂戴いたします。
※参加費は、消費税抜きの金額です。2020 年度は、消費税軽減対策措置法の総額表示義務の特例により、税抜価格を表示させていただいております。現在の消費税 (10%) を税抜価格とあわせて請求させていただきます。